



【高校生一日看護体験を行いました】

目次

- かかりつけ医を持ちましょう ……2～3
- ねっとわーく
いちはし内科医院 …… 4
[ism-Link]に登録しましょう！ …… 5
- 高校生一日看護体験を行いました…4～5
- 認定看護師の紹介 ……6
- 御嶽山噴火でのDMAT隊の活動 ……6
- 飯伊緩和ケアセミナーを行いました …7
- 情報カプセル ……8
薬の効き方
- 職場紹介 ……8
医療福祉係
- 新任医師の紹介 ……8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、患者さんの立場に立った医療を実践します
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と、職員が誇りややりがいの持てる職場づくりを行います
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

かかりつけ医を持ちましょう

「かかりつけ医」は、皆さんの身近にいて家族全員の健康についてなんでも相談のってくれます。かかりつけ医に、ご自分の病歴や体質などを知ってもらえれば、急に具合が悪くなった時でも安心して診てもらうことができます。



飯田市立病院



診察

紹介

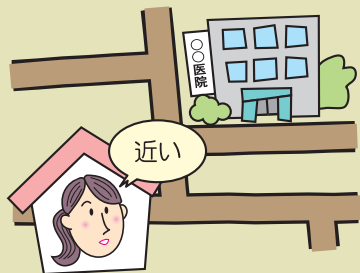
情報提供

逆紹介



かかりつけ医

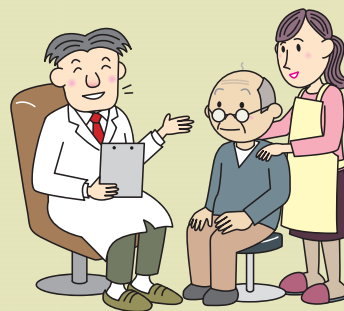
かかりつけ医を選ぶポイント



できれば家の近くにあり、信頼関係がもてる。



話をしっかり聞いてくれて、気軽になんでも相談できる。



病気、治療、薬などについて、わかりやすく説明してくれる。

飯田市立病院は、地域医療支援病院です。

医療機関の機能や特性を生かした役割分担を積極的に進め、地域住民が症状に応じた安心・安全な医療を地域内で受け続けられる仕組みづくりに取り組んでいます。

地域の中核病院としての役割を十分に発揮するため、地域の皆様には、かかりつけ医をお持ちいただくこと、「紹介状」による事前予約を頂いての受診に、引き続きご理解ご協力をお願いします。



Q 飯田市立病院を、自分の「かかりつけ医」にしたいのですが…。

A

飯田市立病院は、「かかりつけ医」の機能や役割は持って



飯田市立病院は 紹介型の病院です



地域の皆様へのお願い

日頃の健康管理は「かかりつけ医」へ

風邪などの初期症状や、病気かな？と気になることがあれば、先ずはお近くの「かかりつけ医」で診てもらいましょう。

◎受診手続きが簡単で、待ち時間が短く、診察は丁寧にしてもらえます。



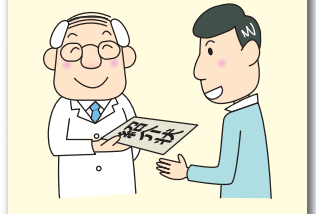
◎病歴・健康状態・体質など、継続的な記録があるため適切な対応をもらえます。



◎健康診断結果などを報告すれば、生活習慣改善のポイントなどのアドバイスをしてくれます。



◎精密検査や高度な医療が必要なときには、専門医を紹介してもらえます。



飯田市立病院へは「紹介状」を

飯田市立病院での治療が必要な場合は、「かかりつけ医」からの紹介状を持参してください。

症状が安定したら「かかりつけ医」へご紹介（逆紹介）します

飯田市立病院での治療が一旦終了し、症状が安定しましたら「かかりつけ医」に再び通院いただくためにご紹介（逆紹介）いたします。

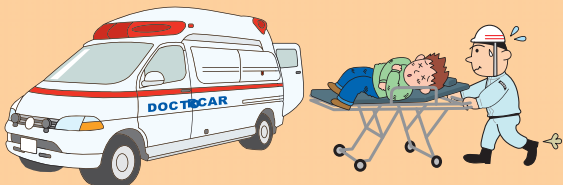
時間外の急病は「休日当番医」または「休日夜間急患診療所」へ

飯田市立病院で現在治療中の病気に関する急な病状変化については、まず飯田市立病院の該当診療科へお電話ください。

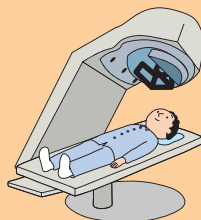
その他比較的軽症と思われる場合は、「休日当番医」または「休日夜間急患診療所」を最初に受診してください。

その理由は…

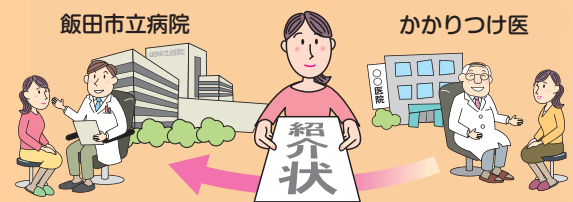
①24時間救急患者を受入れている
「救命救急センター」



②手術、化学療法、放射線療法による
がん治療を行っている
「地域がん診療連携拠点病院」



③紹介状による事前予約の患者
さんを優先的に診察をしている
「地域医療支援病院」



などの役割を持っているからです。



いちはし内科医院

(飯田市上郷黒田)



呼吸器疾患に苦しむ方のために

いちはし内科医院 院長 市橋 浩司

大学を卒業後、昭和大学第一内科に入局、喘息グループに所属しました。

研究より臨床が好きで、学位も喘息論文で取得しました。患者さんは慢性呼吸器疾患の方が多く、1987年に初めてHOT導入を経験しました。全国でもまだかなり症例は少なかったようです。平成5年より群馬県の太田福島総合病院へ内科医長として出張、この時医局の先輩で長野市出身の先生ですが、開業しながらHOT患者さんを群馬県一診られており、開業してからはこの先生が目標となっています。平成10年に飯田へ帰郷、飯田病院に勤めました。平成19年11月

に開業、HOT患者さんは10数名おられます。

禁煙外来を始め、慢性呼吸器疾患の患者さんのQOL向上に少しでも役立つと努めております。新患の患者さんは咳の方が多く、今年からism-Linkの為に電子カルテを導入しています。慢性呼吸器疾患の急性増悪の際は 大変お世話になっております。今後とも宜しくお願いします。



市橋先生(前列中央右)とスタッフの皆様

- 所在地** 〒395-0004 飯田市上郷黒田382-11
☎0265-56-0018
- 診療科目** 内科・呼吸器内科・アレルギー科
- 診療時間** 8:30~12:30 / 16:00~19:00
- 休診日** 火曜日午後 土曜日午後 日曜日
- 往診** 可
- 駐車場** あり



平成26年度 高校生看護師体験

「高校生一日看護師体験」は県内の高校生を対象に、「看護の魅力を伝え、看護職を目指す機会に」と長野県看護協会が主催した事業です。



今年度、当院では飯伊の高校6校から合計43名の応募があり7月31日、8月7日の2日間【1日看護師体験】を開催しました。実行委員は各部署2~3年目の看護師16名が企画から、2日間の運営を担いました。当日「飯田市立病院」のロゴ入りポロシャツを着た看護師は、高校生から「病院内を案内して下さった実行委

登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。



飯田市立病院は、地域完結型医療の実現のため、かかりつけ医との連携を深め、地域の皆さんが安心・安全な医療を受けていただくための地域づくりを推進しています。
その取り組みの一つとして飯田下伊那診療情報連携システム [ism-Link] (イズムリンク) があります。



[ism-Link] は地域内の医療機関等をインターネット回線で結び、患者さんの同意を得たうえで、複数の医療機関が持つ患者情報を 1 台のコンピューター画面上に表示・閲覧することにより、患者さんの安心・安全な医療に役立てる診療情報連携システムです。
情報は全て暗号化されており、安全対策もしっかりと確保されています。

★ism-Link に登録すると、 こんなときに役に立ちます！

- かかりつけ医での診察時に、飯田市立病院や他の情報開示病院でのお薬情報、血液検査、レントゲンや CT 等画像情報などをみながら、総合的な診療をしてもらえる。
- 地域内の医療機関間の情報連携が促進され、地域内で標準化された切れ目のない医療を受けられるようになる。
- 救急医療などの現場において、患者さんご本人やご家族等からの直接的な聞き取りが困難な場合であっても、かかりつけ医があるか、また他の医療機関での治療内容が [ism-Link] で確認できるため、必要な情報をスムーズに医療者側に提供できる。

★こんな方は是非 ご登録をお勧めします！

- 飯田市立病院での治療を受けている方で、すでにかかりつけ医をお持ちの方。
- 飯田市立病院での治療後に、地域の病院や診療所等へ逆紹介させていただく方。
- 地域内の複数の医療機関におかかりの方。

★ism-Link への登録を ご希望の方は

- 飯田市立病院地域医療連携係、または各診療科窓口にお申し出ください。地域医療連携係職員よりご説明させていただきます。

お問い合わせ先 地域医療連携係
TEL 0265-21-1255 内線 2213 / 2214

ねとわーく 飯田市立病院登録医のご紹介

第54号(2014夏号)に掲載の登録医情報に誤りがありました。心よりお詫び申し上げます。
改めて今回掲載させていただきます。

登録医療機関名	主な診療科	住所	Tel
松村内科クリニック	消化器内科・循環器内科・小児科	飯田市松尾代田1603-2	0265-23-6822
清水医院	精神科	飯田市三日市場1066	0265-25-7152
小沢医院	外科・内科・小児科	下伊那郡豊丘村大字神稲129	0265-35-2016

員の看護師が、キラキラしていてすごくいい！」と大好評。また、病棟で直接患者さんの清拭や手浴を体験した学生からは【患者さんの身体を拭いて大変だったけど“気持ちいいな～”と言ってもらったり、“嬉しい”と感じた。そして、こころが暖かくなった】【患者さんの一番近くにいる看護師の存在は大切】【患者さん思いの居心地のいいステキな病院】等、貴重な感想を寄せてもらいました。

そして【今日一日は貴重な体験】【看護師になりたいと強く思う】など、看護職を目指す学生の将来に向けて、一步を踏み出す意義のある体験ができたと思います。

<スケジュール>

- はじめの会:** 自己紹介 / DVDによる病院紹介 / 高校生看護師体験をした先輩からの話 / 集合写真
- 院内案内:** 実行委員による院内案内
- 各病棟実習:** 患者さんの清拭・手浴、血圧測定、リハビリ見学、配膳等
- まとめの会:** グループワーク / 修了証授与

認定看護師の紹介

その4

認定看護師とは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる看護師のことです。患者さんの療養生活の向上と疾病を抱えながらも在宅でその人らしい生活が送れるために、専門的知識をもつ認定看護師を中心とし、フットケア、ストーマ管理、褥瘡予防、リンパ浮腫ケア、緩和ケア等を行っています。当院の認定看護師を紹介します。

認知症看護認定看護師

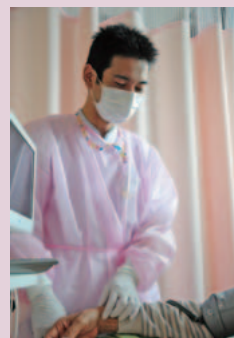
超高齢社会である現在、飯田市の認知症の方の人数は3300人以上と言われ、年々増加傾向にあります。

認知症に限らず高齢者の方でも治療のため入院されることになった患者さんは、急激な環境変化や治療展開に戸惑いを感じ、時として混乱してしまいます。入院生活という非日常の体験は特に認知症の方や高齢者にとって多くのストレスを伴うことも原因の1つです。認知症看護認定看護師はそれらのストレスを軽減することや、認知機能・日常生活レベルの低下を最低限にとどめ、元の生活にできるだけ早く戻ることができるよう支援することを専門とします。患者さんとご家族の思いに寄り添い『安心してもらうこと』を大切に、看護していきたいと考えています。



がん化学療法認定看護師

がん化学療法看護認定看護師は、抗がん剤治療による副作用に対して薬やケアの方法を考え、症状を和らげることを専門とした看護師です。抗がん剤は、がん細胞を死滅させたり、がん細胞の増殖を抑えたりすることができる薬剤です。抗がん剤は、がん細胞と正常な細胞を区別することが難しく、がん細胞だけでなく、正常な細胞に対しても攻撃をしてしまうことで様々な副作用が出ます。副作用をいかにコントロールするかが、抗がん剤治療において重要になるため、症状を和らげる薬やケアの方法を一緒に考えて副作用を少しでも軽減できるようなお手伝いをしたいと思います。



御嶽山噴火におけるDMAT活動について

9月27日に御嶽山噴火で多数の登山者が被害を受けたとの現地情報により、長野県庁医療推進課が県内と近隣5県に災害派遣医療チーム(以下、DMAT)の派遣要請をしました。当病院のDMAT隊は、医師1名、看護師3名、事務調整員2名のチームで県立木曽病院へ向かいました。各方面から集まった他のDMATチームと役割を分担して、当院のDMAT隊は、緊急手術が必要な被災者を搬送する役割を受けて、伊那中央病院へ救急搬送を実施しました。翌日は、診療・搬送の統括部門のリーダーを担当。木曽病院の医療チームと協力しながら運び込まれる傷病者や治療が必要な被災者を受け入れて診療・搬送を実施しました。被災された方は、火山灰を吸い込んだり、飛んできた噴石が当たり骨折・やけどを負っている方が多く見られました。今回の災害でお亡くなりになった方のご冥福と、未だ山頂に残されている被災者が早くご家族の元に戻れることを祈っております。



現地での活動の様子

飯伊緩和ケアセミナー2014 を開催しました

9月20日(土)、21日(日)の二日間にわたり、シルクホテルを会場に「飯伊緩和ケアセミナー2014」を開催しました。医師が17名、看護師等の医療従事者8名、計25名が受講、研修終了後の修了式では全受講者に主催者の金子源吾院長から修了証書が手渡されました。

当セミナーは、がん対策推進基本計画に定める「がん診療に携わるすべての医師が緩和ケアについての基本的な知識を習得し、がん治療の初期段階から緩和ケアが提供されることを目的に、これら医師が緩和ケアの基本的な知識等を習得するための研修会」として位置づけられ、当院が指定されているがん診療連携拠点病院では、年1回は開催しなければならないことになっています。飯田市立病院では、「飯伊緩和ケアセミナー」として平成21年から平成26年まで途切れることなく開催し、今回で6回を数えます。その間、医師が112名、看護師等の医療従事者が58名、計170名が受講修了しています。

セミナーは、講義、グループワーキングなどの研修方式で行われ、2日間にわたる実質的な研修時間は13時間15分になります。受講前は固い表情の受講者でしたが、受講後は多くの方が晴れやかな表情で受講してよかったと感想を述べていらっしゃいました。また、当セミナーには特筆すべきことがあります。セミナーの講師は病院のがんを専門としている医師がそのほとんどを占めていますが、当セミナーにおいては、当地域の地域医療に精通している診療所の医師が地域連携の講義の講師を務め、また助言者としてセミナーの進行にも参加しています。このことは、他にはない画期的なことです。

日本人の二分の一ががんに罹るとい時代を迎え、がん患者さんが住み慣れた家庭や地域での療養や生活を選択できるように在宅緩和ケアを含めた在宅医療・介護を提供していくための体制の充実を図る必要があります。そのためには、多くの医療・福祉の従事者が緩和ケアの知識を習得して、治療やケアに活かしていただく必要があると考えています。

新たに策定されたがん対策推進基本計画(平成24年6月)では、5年以内(平成29年までに)にがん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得することを目標に掲げています。飯伊緩和ケアセミナーは平成27年も開催します。多くの医療従事者に、特に医師の皆様には、是非ともこのセミナーを受講していただければと強く願っています。



講義風景



課題に取り組む



グループワーキングでの議論



修了証書の授与



グループワーキングの結果発表を聞く

緩和ケアとは…

「自分らしく過ごせるように支援する」ことです。

緩和ケアの役割は、診断時から体と心の痛みやつらさを和らげることです。また、緩和ケアは、患者さん本人や家族が「自分らしく」過ごせるように支えることを目指します。体のつらさだけでなく、心のつらさあるいは療養生活の問題に対しても、社会制度の活用も含めた幅広い支援を行うことも大切な役割です。

「痛みやつらいことは、仕方がないことだ」とあきらめることはありません。つらい気持ちを「人に伝えること」が、あなたの苦痛を和らげるための一歩になります。がんと診断されたときや治療中、あるいは治療後でも、痛み、気持のつらさや不安があるときには、いつでも、担当医や看護師、がん相談支援センターに緩和ケアについて相談してください。

(「がんになったら手に取るガイド」より)

近頃の「かかりつけ医」を持ちましょう。市立病院へ初診で来院される場合、かかりつけ医からの紹介による事前予約があると待ち時間が短縮されます。

情報カプセル

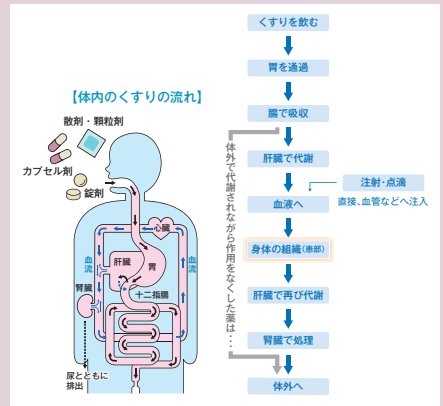


薬の効き方

飲んだ薬はどうやって、体の中で効くのでしょうか？最後はどこへいくのでしょうか？そんな疑問を持ったことはありませんか？

一般的な飲み薬の場合は、食べ物と同じです。食道から胃へ、そして腸へ運ばれ、胃や腸でバラバラに分解されます。分解されて小さくなった薬は、主に腸から体の中に吸収され、血液と混ざります。そして血液と一緒に肝臓へ運ばれた後、全身をめぐるながら患部（治したいところ）へ届けられるのです。すると、痛みが和らいだり、痒みが治まったり、血圧やコレステロールの値が下がったり、薬の効果を感じることができます。

役目を終えた薬は、主に肝臓にある酵素の働きによって、排出されやすい形へと変えられます。これを薬の代謝と呼びます。その後、腎臓を通して尿と一緒に排泄されたり、肝臓から分泌される胆汁と混ざって便と一緒に排泄されたりします。他にも、汗や唾液、母乳と一緒に外へ出てくる薬もあります。



シリーズ ● 職場紹介 ● その42

【医療福祉系の紹介】

第3次整備により、3月に新しい事務所へ移転しました。旧事務所は人が通るのもやっとの狭さでしたが、新しい事務所は広く、業務が関連している地域連携室と同室となり事務連絡がよりスムーズになりました。

当係は係長1名とメディカルソーシャルワーカー（MSW）と呼ばれる相談員8名、退院調整等に関わる看護師2名の11名です。

業務の大きな柱は

- ・ 福祉制度等の案内や申請の支援
- ・ 患者さんからの相談への対応
- ・ 転退院される患者さんの支援

最近、独居や高齢者世帯が増えており、退院後の在宅生活に不安のある方が多いため、介護保険制度や認定申請の説明、地域の包括支援センター、ケアマネジャーなどと連携し、ご自宅へ帰られた患者さんが安心して暮らせるようなお手伝いをさせていただいています。



あ と が き

今年は想定外の大雪にはじまり、天候・気象に関心が頻繁に向いています。

夕立という風情にはほど遠い「ゲリラ豪雨」や広島や木曾の土砂災害と異常気象？が続いています。突然の御嶽山噴火には、人知の及ばない、自然の猛威をあらためて感じました。紅葉やきのこ等山や自然の恵みを楽しみながら、日頃から我が身の安全は常に考えていくようにしたいものです。

編集委員 窪田みな子

新任医師の紹介 平成26年7月～10月



外科
寺田 志洋
(てらだ ゆきひろ)
平成23年3月卒業
平成26年10月1日着任
前勤務病院
信州大学付属病院



産婦人科
今西 俊明
(いまにし としあき)
平成21年3月卒業
平成26年10月1日着任
前勤務病院
伊那中央病院



耳鼻いんこう科
小林 正史
(こばやし まさふみ)
平成23年3月卒業
平成26年10月1日着任
前勤務病院
信州大学付属病院



形成外科
西岡 宏
(にしおか ひろし)
平成23年3月卒業
平成26年10月16日着任
前勤務病院
信州大学付属病院